

「鳥飼車両基地の井戸掘削」問題で申し入れ！

地本は、11月12日に「鳥飼基地の井戸掘削」について申し入れを行いました。会社は鳥飼車両基地の井戸掘削工事を強引に進め、地元自治体との関係悪化、近隣住民の生活環境の悪化、車両所で働く社員の安全が脅かされています。

摂津市は、11月10日の摂津市臨時市議会においてJR東海を相手取り「環境保全協定上の地位確認及び井戸掘削差止等」を求めて提訴することを全会派・全議員一致で可決し、11月14日に大阪地方裁判所に提訴しました。本来、基地がある地元自治体・摂津市との間で良好な関係を保つべきですが、会社が進めてきた強引な工事と会社の強行姿勢がまねいた結果だといえます。このまま工事を強行していけば社会的イメージが悪化していきます。

また、鳥飼車両基地内には既にいくつかの段差や亀裂があり、これらは地盤沈下の跡であったり、今も沈下が続いている疑いがあります。職場では車両基地と社員の安全が脅かされ危険な状態が放置されています。井戸掘削に反対の立場から以下の内容で申し入れを行いました。

1. 「井戸掘削問題」に関する今日までの摂津市と地域住民の声を無視した対応を改めること。
2. 11月10日、摂津臨時市議会において摂津市がJR東海を提訴することが決定した。
会社として摂津市が要求している内容を把握しているのか。
把握しているなら摂津市の和解内容を受けようとする意思はないのか。会社の見解を明らかにすること。
3. 井戸の掘削工事が行われている鳥飼車両基地内には、既に多くの箇所にて地盤沈下の跡が存在する。
このような現象が更に発生・悪化することはないのか明らかにすること。
4. 昨年から今年にかけて、大阪仕業検査車両所の検査・修繕を行なう庫内で、車両とレールを支えるコンクリート製のローソクの補修・補強工事が多くの箇所で行われている。
これは、庫内の地盤沈下とは関係がないのか、また関係がないのであれば、その原因を明らかにすること。
5. 11月6日付の朝日新聞記事に柘植社長の9月の会見の記事「環境を悪くしてのコスト削減は許されない。環境は絶対の優先事項」が掲載されていた。会見の内容と今回の地下水汲み上げによる地盤沈下の問題との関連について会社の見解を明らかにすること。
6. 以上の事が改善、解消されない限り、市民と社員の安全は確保されない。
したがって、現在、強行されている工事を中止すること。